



8/4

「夏休みスペシャル減災教室」を開催 ■減災連携研究センター



「かわらばんすごろく」の様子

減災館において、こども向けイベント「夏休みスペシャル減災教室」を開催しました。

今回は、福和伸夫減災連携研究センター長による「げんさい教室」で地震と建物の揺れについて様々な実験を行ったほか、地図を使った災害発生時の避難シミュレーションゲーム「安全

ルート探索」、江戸時代の安政地震直後の様子を古文書すごろくで学ぶ「かわらばんすごろく」、クイズで災害廃棄物問題の理解を深める「大雨発生！そのごみどうする？」等の新たな企画も加わり、開館前から親子の行列ができるほどの大盛況となりました。

8/5

第29回日本数学コンクール及び第22回日本ジュニア数学コンクールを開催



問題に取り組む参加者

第29回日本数学コンクール及び第22回日本ジュニア数学コンクールが、名古屋・大阪・三重・和歌山・福井の5会場において開催されました。

日本数学コンクールは高校生を対象に、日本ジュニア数学コンクールは小・中学生を対象に、科学と技術の基盤を担う夢とロマンを秘めた若者の才

能を発掘・育成していくことを目的に開催しています。今年度は「畳の敷き方」などの5題が出題され、小・中・高校生計513名が楽しみながらも難しい数学の問題に取り組みました。

今後、論理性や着眼点などが審査され、11月4日(日)に表彰式が行われる予定です。



ブレイクタイム

大学院情報学研究科附属グローバルメディア研究センター (GMRC) とは



GMRCは、メディア・コミュニケーションに関わる学際的研究を進めるべく、国際関係学や情報学の研究者が中心となり2015年に設立され、部局再編に伴い2017年に大学院情報学研究科附属となりました。

政府レベルでは、相手国市民への直接的説得を試みるパブリック・ディプロマシーの強化が進む中、既存メディアやソーシャル・メディアを通じた情報操作、フェイクニュースの問題が指摘されています。個人レベルでは、自分と似た意見の人ばかりとの交流を繰り返す中で、自らの意見が強化されるエコーチェンバー現象が確認され、欧州では2016年以降、ドイツやオーストリアで相次いで右派ポピュリスト政党が急伸、これらの政治現象との関連が指摘されています。

本研究科の研究者のほか、共同通信社や中日新聞社等の協力も得て、現代的なこの現象の解明に取り組んでいます。初の研究成果である書籍を2016年に刊行、国内外の研究者や実務家を招聘する「インターナショナル・パブリック・レクチャー」等も随時開催しています。